

《佐賀県》

からつやき
【唐津焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

古くから茶の世界では、「一井戸・二楽・三唐津」という茶碗の格付けがあり、茶の湯の名品として多くの茶人に愛されました。また「備前の徳利、唐津のぐい呑み」と言われるように酒器としての評価も高く、飽きのこない一品に出会う楽しみもあります。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
唐津やきもんまつり	毎年 4 月～ 5 月	唐津市中心市街地	唐津やきもん祭り実行委員会 0955-74-3355
伝統工芸唐津焼展	毎年 4 月～ 5 月・9 月	唐津市ふるさと会館 アルピノ	唐津焼協同組合 0955-73-4888
唐津窯元ツアーリズム	毎年 11 月	唐津 各窯元	唐津観光協会 0955-74-3355

《佐賀県》

い ま り なべしまやき
【伊万里・鍋島焼】



大川内山

【陶磁器の魅力はこんなところ！】

伊万里大川内山では、江戸時代、佐賀藩の御用窯が置かれ、将軍家などへ献上する特別にあしらわれた焼き物「鍋島」が焼かれていました。

現在の窯元は、高度な技術を受け継ぎながらも新たな技術を取り入れるなどし、「伊万里・鍋島焼」として約350年の歴史と伝統を引き継いでいます。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
春の窯元市	毎年4月	大川内山	伊万里鍋島焼協同組合 0955-23-7293
伊万里やきものまつり	毎年4月29日～5月5日	大川内山	伊万里鍋島焼協同組合 0955-23-7293
風鈴祭り	毎年6月～8月	大川内山	伊万里鍋島焼協同組合 0955-23-7293
鍋島藩窯秋祭り	毎年11月	大川内山	伊万里鍋島焼協同組合 0955-23-7293

《佐賀県》

たけおやき
【武雄焼】



飛龍窯

【陶磁器の魅力はこんなところ！】

武雄焼(古武雄)は、1590年頃から、鉄絵・^{りよくゆう}緑釉・^{てつゆう}鉄釉・^{はけめ}刷毛目・叩きの技法で、大皿、瓶、壺、茶碗、甕など多様な焼き物が作られ、日本各地だけでなく東南アジアにも輸出されていました。現在は、およそ90軒もの窯元がそれぞれ、この伝統的な技法を生かしながら、個性を尊重し、多様な作品を生み出しています。また、全長23メートル、世界一の容積を誇る登り窯である飛龍窯が有名です。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
武雄の紅葉と窯元巡り	毎年10月～11月	慶洲園・飛龍窯・武雄市文化会館 等	武雄市観光協会 0954-23-7766
TAKEO・世界一飛龍窯灯ろう祭り	毎年2月	竹古場キルンの森公園・飛龍窯	TAKEO・世界一飛龍窯祭り実行委員会 0954-23-9237

《佐賀県》

ひぜんよしだやき
【肥前吉田焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

肥前吉田焼は天正5年（1577年）頃に始まり、その後、寛永年間（1624～44年）、蓮池藩主、鍋島直澄が朝鮮陶工を吉田山に招き、磁器を焼かせた頃から本格的に製造が始まったといわれています。現在も、スタイルにとらわれることなく、技術向上に励んでいます。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
吉田おやまさ ん陶器まつり	毎年4月	肥前吉田焼窯元会館 及び各窯元	肥前吉田焼協同組合 0955-43-9411
肥前吉田焼辰 祭り	毎年11月	肥前吉田焼窯元会館	肥前吉田焼協同組合 0955-43-9411
えくぼとほく ろ	通年	肥前吉田焼窯元会館 及び各窯元	肥前吉田焼協同組合 0955-43-9411

《佐賀県》

ありたやき
【有田焼】



有田内山伝統的建造物群保存地区

【陶磁器の魅力はこんなところ！】

17世紀初頭、朝鮮人陶工・初代金ヶ江三兵衛（通称：李参平）らによって有田町泉山で磁器の原料となる陶石が発見され日本初の本格的な磁器の生産が始まりました。それから400年、食器から美術工芸品まで幅広い焼き物の生産を続けています。

磁器生産の中心地「内山」地区は、白漆喰しろしっくいの伝統的な町屋や洋館など江戸時代から昭和初期の建造物が連なり、「日本の20世紀遺産20選」に選定されています。

☆イベントスケジュール☆

イベント名	日時	場所	お問い合わせ先
有田陶器市	毎年4月29日～5月5日	有田内山地区	有田商工会議所 0955-42-4111
秋の有田陶磁器祭り	毎年11月	有田町内各所	有田観光協会 0955-43-2121
有田雛のやきものまつり	毎年2月・3月	有田町内各所・有田館・アリタセラ	有田観光協会 0955-43-2121

《佐賀県》

しらいしやき
【白石焼】



【陶磁器の魅力はこんなところ！】

佐賀県みやき町皿山の周辺の窯元で、焼成されるやきもの。有田焼を「西目の皿山」と呼ぶのに対し、白石焼を「東目の皿山」と呼びその名を馳せた。白石焼は地元産の陶石から生まれる素朴さと温もりがあるのが特徴です。